

ジャパン・ハッカソン実行委員会

事務局：京都府商工労働観光部

ものづくり振興課内

電話：075-414-5103

「ジャパン・ハッカソン」の開催・参加者募集について ～WITH コロナ社会における新たな「リモートワーク」のアイデアを競う～

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、社会のあり方が大きく変わろうとしています。これまで対面を前提としてきたものが、非対面・非接触へと移行していく中、特に、これまで大部分を対面接触方式を基本としてきた観光、教育、医療・介護などの分野においては、新たな働き方や仕組みづくりが急がれています。

こうした「ニューノーマル」においても人々が充実し満足した生活を送ることができるよう、京都府、京大起業部インターナショナル、関連企業などが連携し、新たな働き方を支えるアイデアを競い合う「ジャパン・ハッカソン」を開催することといたしました。世界各国の学生や起業家、地域課題の解決に取り組む企業などに参加いただき、各々の知恵や技術を持ち寄って WITH コロナ社会における課題解決策の糸口を見出します。

今回のハッカソンは、コロナ対策下でも多くの方が御参加でき、「リモートワーク」の課題を体感しながら意見交換ができる、オンラインでの開催といたします。参加者の皆様は、自宅等にしながら、各国からの参加者と交流し、議論を重ねながら、アイデアを形作ることができます。

■開催概要

- 事業名 : 第1回ジャパン・ハッカソン
日程 : 令和2年6月26日(金)16:00～28日(日)20:00 (日本時間)
会場 : オンライン開催 (Zoom 等の WEB 会議システムを利用)
テーマ : 「リモートワーク」
参加者 : 国内外や京都の大学生、起業志望者、社会課題の解決に取り組む企業・起業家、プログラマー、デザイナー、プロジェクトマネージャーなど
定員 参加費 : 先着 150 名・無料
使用言語 : 英語
申込方法 : 特設サイトから申込み (<http://www.japanhackathon.com/>)
申込期限 : 令和2年6月5日(金) 23:59 まで (日本時間)
主催 : ジャパン・ハッカソン実行委員会 (京大起業部インターナショナル、京都府、一般社団法人京都知恵産業創造の森、公益財団法人京都産業21、関連企業などで構成)

■第1回ジャパン・ハッカソンの3つの特徴

- ①開催地に移動することなく自宅等から参加できるため、京都から遠い地域の方々も参加しやすくなり、また、会場の確保の必要もなくなるため、リアルで開催するよりも多くの方々にお集まりいただけます。

- ②チーム内のコミュニケーションも全てオンラインで行うことから、参加者自身が「リモートワーク」の課題を当事者として体感しながら進めるため、具体的で実効性のあるアイデアを生み出すことができます。
- ③京大起業部インターナショナルが持つ独自の国際的ネットワークを活かし、欧米だけではなくアフリカや中東なども含む世界各国から起業家や起業を志す学生などの参加が予定されており、多種多様な方々と出会うことができます。

※「ハッカソン」とは

ハッカソンとは、ハック(HACK)とマラソン(MARATHON)を組み合わせた造語です。学生、プログラマー、デザイナー、プロジェクトマネージャーなどが集まってチームを作り、実生活で起こる課題などに対してクリエイティブな解決策を見出す、世界的に実施されているイベントであり、オープンイノベーション手法の一つとなっています。

※京大起業部インターナショナルの概要

概要 : 京都大学経営管理大学院のメンバーが主となって 2019 年に設立。世界各国から集う、京都大学と京都大学大学院に在籍中の学生、研究員、卒業生及び修了生からなる多様なバックグラウンドを持つ人々(世界 33 カ国・150 名以上)が在籍している任意団体。

代表者 : 赤城 賀奈子

設立 : 2019 年 1 月 29 日

URL : <https://kuiec.com/>

【お問い合わせ先】

- ジャパン・ハッカソンの内容について

担当 : 和田 (京大起業部インターナショナル Public Relations Manager)

電話番号 : 050-5809-7713

E-mail : hiro.wada@japanhackathon.com

- 上記以外のことについて

担当 : 京都府商工労働観光部ものづくり振興課

電話番号 : 075-414-5103